

子育て世代とのカフェ・ド・ギカイ【みんなのひろば】

「テーマ1：子育てしやすい町とは」

【グループ1】

- ・支援金などの制度が充実している町。
- ・0歳児から子どもを気軽に預けられる町。
- ・イベントを頻繁に開催し、コミュニティを増やしてほしい。
- ・たんたん号の本数が少ないので、交通網を整備してほしい。
- ・道路が狭い。
- ・公園が少ない。
- ・ボール遊び禁止の公園が多い。
- ・公園の駐車場がない。

【グループ2】

- ・道が狭い。
- ・歩道が整備されていない。
- ・フードオアシスオータニ高根沢店近くの跨線橋が狭い。
- ・子供が気軽に行ける公園がない。
- ・公園に駐車場がない。
- ・公園に遊具がない。
- ・たんたん号の使い勝手がよくない。目的地など、用途によって車を分けてほしい。（「ももたん号」など）
- ・歴史民俗資料館などの施設は、子ども向けに通称をつけてほしい。

【グループ3】

- ・車に乗らない方のために、たんたん号の本数を夕方増やしてほしい。
- ・公園でのボール使用が禁止されているため、子どもたちでルールを作って、自由に遊べる所を作ってほしい。
- ・体育館のエアコンの設置を早急にお願いしたい。（中学校は卒業までに、小学校は来年度）

「テーマ２：住みたい町とは」

【グループ１】

- ・町内に産科がないため、家族の協力が得られず、陣痛が起こった場合は、タクシーで病院へ行かなければならない。また、以前、たんたん号を利用した際は、３時間待ちだった。交通網を充実させてほしい。
- ・宝積寺駅の西側にスーパーマーケットがほしい。
- ・高根沢町は子育て世代に優しい町だが、近隣市と比べると助成額がやや少ないため、転出してしまう家族もいる。近隣市と同額の助成制度を充実させてほしい。

【グループ２】

- ・おじいちゃん、おばあちゃんに囲まれ、穏やかに暮らせるところがよい。
- ・子どもを連れて行ける駅前イベントがあるところがよい。
- ・自然を感じられるところがよい。
- ・お店が少ない。
- ・医療体制が整っていない。
- ・交通の便が悪い。
- ・町外から参加できる花火大会などのイベントを望む。
- ・災害に対するケアを充実させてほしい。

【グループ３】

- ・高校は町外へ通学する生徒が多く、家族による送迎の負担が大きい。軽減するために、駅までの循環バスなど、公共交通の充実を図ってほしい。
- ・阿久津中学校に行く道路が狭いため、子どもの身の安全が不安である。
- ・温泉施設で、赤ちゃんや子どもを預かってくれるサービスがあると、お母さんが日頃の疲れを癒し、リラックスしながら温泉に入ったり食事をしたりすることが可能となる。元気あっぷむらで、「温泉で産後ケア」などのサービスを提供してほしい。
- ・おむつ着用のまま入れるお風呂を作してほしい。
- ・元気あっぷむらに「たんたんプラザ光陽台」のようなJAが運営する直売所を入れてほしい。
- ・たんたん号が、LRT駅に直結してほしい。
- ・子どもたちが、すぐに行けるお店がない。